Qpril 22,2016. 新宿食支援研究会定例会

新食研の挑戦

~Strategy&Ambition~

ふれあい歯科ごとう 新宿食支援研究会 代表 五島 朋幸

食支援



- ・本人、家族に口から食べたいという希望がある、もしくは身体的に栄養ケアの必要がある人に対し、
- 適切な栄養管理、経口摂取の維持、食を楽しんでもらうことを目的として
- リスクマネジメントの視点を持ち、適切な支援を行うこと

(新食研「そしお」編)

新宿食支援研究会(新食研)

2009年7月発会

最期まで口から食べられる街、 新宿



新宿食支援研究会の活動目標

- 1. 介護職の食に対する意識の向上
- 2. 食支援職種のネットワークづくりと知識、 技術の向上
- 3. 食支援の地域での実践





新宿食支援研究会とは 何なのか!



- ■見つける人
- ■つなぐ人
- ■結果を出す人



地域で無限に作り出すこと

街づくり!

1. 介護職の食に対する意識の向上

見つける(M)

2. 食支援職種のネットワークづくり

つなぐ(T)

3. 食支援の地域での実践

結果を出す!(K)



広める(H)

- ・食の大切さを社会に広める
- ・栄養と食べる機能の知識を社会に広める
- ・食支援とは何かを社会に広める

社会教育(social education)

MTK&H

(見つける、つなぐ、結果を出す、そして広める)

連携って何?



プロがプロの仕事をすること

新食研流ネットワーク



腕と腹の見える関係

Skill & Mind

タショクシュ連携を再考する

- 他職種連携と多職種連携
- ■「他」と「多」が混同
- 定義を再考する



他職種連携

- 一つの現場で他の職種と連携を取りながら結果を生み出すこと
- その現場に適当な職種が集う
- 多くの職種が集まればいい訳ではない



多職種連携

- 地域単位で多くの職種が交わり、多様な連携を行うことで多彩な結果を残していくこと
- 日頃から多くの職種とコミュニケーションを とる
- プロフェッショナルの連携



多職種連携と他職種連携

地域の多職種連携を深める



各現場の

他職種連携を

スムーズに作ることができる

なぜ、新食研は継続するのか?

■プロフェッショナル同士

■ 自分の仕事の役に立つ



新食研イズム(Principle of SSK)

- 1. MTK & H(見つける、つなぐ、結果を出す、そして広める)
- 2. Skill & Mind (腕と腹)
- 3. Win-Win & No Lose (全ての人が得をする)



新食研のSTRATEGY

- 1. 新食研メンバーが交流を深め、各職種の プロとして食支援力を向上させる
- 2. 新食研の各WGで地域食支援力を向上さ せる
- 3. 「食べられる人」だけではなく、「食べられ る街」を作る